

令和7年度地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業

**医療現場の業務DXに資するAI人材育成に向けた学科転換事業  
合同委員会（第2回プログラム開発委員会/実証・検証委員会）**

令和7年12月5日

**資料③**

**成果展開に向けた対応策について**

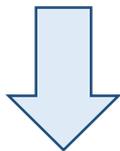
# 議題

本事業の成果を広げていく上で、重要な関係先となる「教育機関」と「医療機関」に対して、効果的な対応策は何か。

→以下の対策イメージをもとに意見交換



教育機関向け 生成AIに関する授業導入の支援策



医療機関向け 現場課題発見型の医療機関での実習モデル

## 生成AIに関する授業導入の支援策

生成AIを活用できる人材を育てるプログラムの新規導入を検討する教育現場に対して、授業プログラムの導入をしやすくすることを目的として、以下の3つの支援策をもとに、意見を伺いたい。

### 生成AI関連授業の 基礎教材の提供



#### ■ 想定される課題

- 生成AIに関わる基礎的な知識、リテラシーを身に着けるための授業を実施したことがなく、内容や評価の設計に不安がある
- 課題解決力を身に着ける実践型の授業の中に、生成AIの活用をどのように組み込めばよいか、わからない

#### ■ 対策イメージ

- AI基礎授業のテンプレート
- 課題解決型授業の運営ガイド（仮想ケースなどの教材付き）
- 基礎的な評価ルーブリック

### 講師向け 生成AI活用ガイド



#### ■ 想定される課題

講師自身が…

- どのようなツールがあるのか、どのような活用ができるのか、知らない
- 日々の業務に追われ、実際に活用することができず、生成AIの効用を実感できていない

#### ■ 対策イメージ

- 基礎的な生成AI、学習管理システム一覧（活用事例付き）
- 授業準備での生成AI活用ガイド

### 導入初期における 講師への支援



#### ■ 想定される課題

- はじめての導入で不安があり、アドバイスがほしい
- 周囲で生成AIを活用している講師がおらず、孤軍奮闘になることが予想される
- どのようにカリキュラムを組めばよいか、イメージできない

#### ■ 対策イメージ

- 試行授業の共同実施
- 初回授業の設計相談
- 定期的なスーパーバイズ
- カリキュラム作成の相談

## 現場課題発見型の医療機関での実習モデル

従来と異なり、現場の課題発見を主眼とした実習を実施する上で、受入側となる医療機関の協力を仰ぎやすくすることを目手として、以下のツール作成の案をもとに、意見を伺いたい。

### 受入れ ガイドライン



#### ■ 想定される課題

- AI人材の実習受入を検討するにあたって、受入側にどのようなことが期待されているのか、不安がある。
- 指導側にどのような負担が生じるのか、生成AIの活用に伴い情報セキュリティ上のリスクが生じるのか、わからない。

#### ■ 対策イメージ

- ガイドラインの作成
  - 部門を跨いで共有できる
  - 育成上のポイントがわかる
  - 機関側の役割がわかる
  - 機関側のメリットがわかる

### 医療機関のニーズに則して選べる 実習パターン作成



#### ■ 想定される課題

- 課題発見を主眼とした実習を受け入れるにあたって、実習生に求める“成果”がよくわからないし、業務改善の提案だけされても困る
- 改善したいと考えている業務のポイントを明確に持っているが、こちらの期待に沿った実習を組むこともできるのか
  - 例：請求業務まで兼務する医療事務の受付業務負担を軽減させたい
- 施設スタッフは気づいていない課題点を、学生目線で考えてほしいが、そのようなこともできるのか

#### ■ 対策イメージ

- 医療機関のニーズに則して設計できるよう、2パターンを用意
  - 改善上の重点を医療機関側で用意する 「課題提示型」
  - 現場ニーズに沿って課題を新たに探索する「課題探索型」
- 共通する部分の明確化
  - 例：最終日に現場の医療スタッフへプレゼンテーション

